

ほど 教育センター通信 火床の火の心を紡ぐ

第4号

平成25年12月9日
三条市小中一貫教育推進課
発行：教育センター

三条市の学校教育目標

未来を拓き、力強く生きるための「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」をもった三条っ子

現校舎で最後の日体験入学…第一中学校



小学校交流会 各校で用意。ボトルキャップを並べた造形にチャレンジしました。

9月27日、四日町小・条南小・南小学校の6年生が第一中学校で一日を過ごしました。学級ごとに教室を割り当て、朝読書、小学校交流会、中学校教師による授業(2時間)、中学2年生の職場体験発表会参加、部活動見学などが行われました。

職場体験発表会は小中一貫教育では異学年交流に位置づけられ、中学生には自己有用感を、小学生には中学生に対する憧れの気持ちを持たせることをねらいとしています。中学2年生は小学6年生時に経験しており、6年生の気持ちがほぐれるように、どの教室でも自然に笑顔があふれていたのが印象的でした。



乗り入れ授業 2クラス合同の体育。バレーのパスの基礎練習。やわらかいボールを使い、受け方を教師と児童でやって見せました。



職場体験発表会 中2年生が小学6年生に発表しました。6年生は3小の混合班です。

第2回小中一貫教育実践研修を開催



教科ごとに研修(外国語)

す個人演習と、それについての意見交換、担当指導主事からの指導助言が行われました。

10月24日、標記の研修会を開催しました。この実践研修は、「三条市の小中一貫カリキュラムの理解を深め、教科カリキュラムを活用した授業を実施することで、指導内容の明確化と系統化、教科書における学習の系統性を理解する」ことをねらいに、中期の学級担任及び国語・数学・英語(外国語)の教科担任を対象に募集し、3回開催します。今回は、当該学級の児童生徒の実態から一単元の「9年間の学びにおける本単元の価値」「主な指導内容」「中学校区の留意点」を見直す

井栗小学校で乗り入れ授業…第四中学校区

9月27日、第四中学校の英語科教諭が井栗小学校4年生に対して外国語活動の乗り入れ授業を行いました。第四中学校区では、3小学校それぞれの要望に応じて学年や指導内容を決めて取り組んでいます。今回は「4年生のアルファベット指導」の要望に応えた授業が行われました。

導入として、英語で自己紹介の仕方を教えて練習。「今日は中学校の入口の部分をやってみます。アルファベットが正しく読めると英語もかっこよく読めるようになるよ!」と、児童の興味をそそりました。



「Hello! I'm ○○. I like ○○. Nice to meet you」の練習をしました。子どもたちははりきって初体験を楽しんでいたようです。



「アルファベットは何文字ですか?」から初めて、ビンゴ用紙に各自でアルファベットを記入。児童の興味関心を引き出す工夫です。

発表を工夫して職場体験発表会…第三中学校

9月27日、第三中学校で2年生の職場体験発表会が行われ、3小学校の5年生が参加しました。これまでの体育館で数グループが発表したのを改め、会場を分け聞きやすい環境にしました。武道場に集合した5年生を担当者が各教室へ誘導。パワーポイントを使って項目ごとに表示して、内容がわかりやすかったです。また、小学生も積極的に質問をしていました。中学2年生と小学5年生の息が合っていると感じられた発表会でした。



第四銀行 模造紙幣を使い2種類の数え方を実演してみせました。小学生からは「使い分けはどのようにするのか」と質問があり、枚数によってと回答。



消防署 「消防服を着るのに何分かかりましたか」の質問に、その場面を再度表示し、どういふうに着るか動作をしながら詳しく説明しました。

*久しぶりの発行となり、2学期前半の取組を紹介させていただきました。後半の取組については次号で紹介させていただきたいと思います。

いじめ見逃しゼロスクール集会…第二中学校区

9月30日、一ノ木戸小学校で、一ノ木戸小学校6年生と第二中学校生徒が集まり、いじめ見逃しゼロスクール集会が行われました。生徒会長の開会のあいさつに続いて、スクール集会に向けたアンケート結果について児童会と生徒会から報告がありました。内容は、メールの交換の有無、メールをする機器、ネット・メール・ツイッター等で友達や知り合いの悪口を見聞きした経験等です。小中学生が共に携帯やメールが生活に悪影響を及ぼしている状況がはっきりと結果から読み取れました。

この結果を受けて、長岡市サポートセンター職員の講演があり、「犯罪の被害者加害者になった例」等、ネットに関するトラブルに関して具体的な話題提供が行われ、メール等の利用に対して注意を喚起しました。

その後、各学年代表が意見発表をし、全員による「いじめ見逃しゼロ宣言」で会を閉じました。



小学生によるアンケート結果発表 「手紙やメールなど顔の见えないコミュニケーションで大切にしなければいけないことは？」も調査。問題点として、「人の考えに乗ってしまう」、「言われた人の気持ちが考えられない」と指摘しました。



いじめ見逃しゼロ宣言 全員でスクリーンに表示された宣言を唱和しました。第二中学校体育館が改修で取り壊されたため、一ノ木戸小学校体育館が会場になりました。

のこぎりの使い方の乗り入れ授業…大崎中学校区

10月3日、大崎中学校の後藤教諭が大崎小学校3年生図工で乗り入れ授業を行いました。大崎小学校が3年生で「のこぎりの使い方」についての指導を希望しました。



のこぎりの実演 両刃と木目との関係を説明して、実際に切って見せました。児童は集中して見ていました。



手を添えて支援 うまくできない児童に、手を添えて、励ましの声もかけていました。やっと切れた児童はほっとした表情を見せました。

生徒会が主導したいじめ見逃しゼロスクール集会…第三中学校区

10月11日、第三中学校で3小学校6年生と第三中学校生徒全員が集まって、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催しました。生徒会役員によるいじめに発展しそうな寸劇発表、異学年グループによる「人権カルタ大会」を行い、その後いじめについての意見交換をする等、第三中学校区独自のプログラムを企画した取組になっていました。



3つの寸劇 「こういうことがあったらどうすればいいか」を考えてほしいと生徒会役員が自作自演しました。一息入れる言葉として、「ちょっと待って!」を使わない場合・使う場合の両方を演じ、比較して考えられる工夫をしていました。



人権カルタ大会 特別支援学級の子どもたちが作ってくれたカルタを使って、50グループでカルタ取りをしました。やさしい気持ちになるかたで和やかな雰囲気となり、小学6年生もがんばっていました。



「人権カルタ」について

第三中学校が使用したカルタのデータは、平成20年に文科省の委託を受けた「人権教育推進のための調査研究委員会（長野県）」が、作品を公募して作成したものを利用しました。詳しくは、長野県教育委員会心の支援室発行の「人権つうしん」をご覧ください。

なお、大島中学校区では、「おおじまあったかるた」という名称で独自に作成したカルタを、いじめ見逃しゼロスクール集会等で利用しています。



リレー随想

小中一貫教育の推進

統括指導主事 平野政幸

今年度、新たに教育センターを設立しました。教育センターの大きな役割の1つに小中一貫教育の推進があります。三条に赴任してきた教職員に対し小中一貫教育について理解を深める「小中一貫教育基礎研修」や小中一貫教育カリキュラムの活用の仕方を研修する「小中一貫教育カリキュラム研修」を始め、小中一貫教育の視点を加えた様々な研修の企画運営を行っています。

先日、広報さんじょう12月号に掲載した「乗り入れ授業」はどこの中学校区でも実施されています。しかし、「小中一貫教育カリキュラムを活用した乗り入れ授業」はどうでしょう。乗り入れ授業にかかわらず「小中一貫教育カリキュラム」はどれだけ活用されているのでしょうか？

みなさんご存じの通り、「小中一貫教育カリキュラム」とは、国語を含む全教科に加え道徳、特活、生活・総合的な学習の時間それぞれについて小学1年生から中学3年生までの9年間の成長を見通して中学校区で練り上げたカリキュラムのことです。指導の構想、学びの系列表、学びの履歴や学びのつながりが明記された指導計画があります。年度当初には、完成したカリキュラムに基づいて授業等の実践を通して赤ペンを入れていくことをお願いしました。どれだけ赤ペンを入れることができたのか楽しみです。これからも更なるカリキュラムの自校化をお願いします。